

登録コード	UAF28500	開講年度	2026				
授業題目	認知心理学演習				担当教員	三和 秀平	
					副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
	【研究科共通】自身の専門分野における高度な知識と技能を有する。				認知心理学に関して、高度な知識と技能を有する。		
	【研究科共通】量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。				認知心理学に関して、量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
	【心理・長野臨床以外】心理学分野の高度な知識・技能を有する。						
	【心理・長野臨床以外】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。						
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理・長野臨床】心理学分野の高度な知識・技能を有する。						
	【心理・長野臨床】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。						
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				認知心理学に関して、高度な知識と技能を有する。		
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				認知心理学に関して、量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。		
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				認知心理学の知見をいかして問題解決をする能力を有する。		
(2)授業の概要	各テーマに関する文献をまとめて発表する。それに対してディスカッションを行ったり、実際に心理実験を企画・実施したりする。						
(3)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：論文講読（動機づけに関する論文） 第3回：論文講読（学習方略に関する論文） 第4回：論文講読（個人差に関する論文） 第5回：論文講読（記憶に関する論文） 第6回：オンライン実験の手法 第7回：研究計画（先行研究の調査）：先行研究の整理 第8回：研究計画（先行研究の調査）：先行研究のまとめ 第9回：研究計画（実験課題の選定）：実験課題の構想 第10回：研究計画（実験課題の選定）：実験課題の精査 第11回：課題の作成（実験課題の作成）：実験課題の作成 第12回：課題の作成（実験課題の作成）：サーバーへのアップロード 第13回：課題の作成（実験課題のデモ） 第14回：データの収集と分析 期末レポート 学期最終回の授業で「授業アンケート」を実施する 受講者の関心などにより内容を変更することがある						
(4)成績評価の方法	以下を総合して評定する。 ・授業中に出す課題の実施：30% ・授業への積極的な関与：20% ・最終レポート：50% 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						

(5)成績評価の基準	レポートおよび研究が授業で解説した内容と同レベルの内容であれば「水準にある」 レポートおよび研究がより高いレベルの内容であれば「かなり上にある」 レポートおよび研究がやや高度なレベルの内容であれば「やや上にある」 レポートおよび研究が非常に高度なレベルの内容であれば「卓越している」
(6)事前事後学習の内容	前回の授業の内容を振り返ったうえで、授業に臨むこと。 自身が研究をしたい内容について調べておくこと。
(7)履修上の注意	・パソコンを持参すること ・web上で行う実験を作成するため、心理実験について事前に理解をしておくこと ・ディスカッションには積極的に参加すること
(8)質問,相談への対応	質問や相談はメールなどで随時受け付ける。 miwas@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	指定しない
【参考書】	適宜紹介する。